

令和元年 9 月 5 日

学校法人 実学舎  
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校  
学校関係者評価委員会

## 平成 30 年度についての学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会を令和元年 8 月 30 日、本校にて実施しました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

### 記

#### 1. 開催日時

・令和元年 8 月 30 日（金） 18 時 00 分～19 時 00 分

#### 2. 場所

・本校 303 教室

#### 3. 出席委員と本校からの出席者

出席委員：

斉藤等（株式会社アイネット 管理部 部長）

榊谷都由（イシイ株式会社 営業部 部長）

小林均（株式会社太洋社印刷所 総務部 部長）

永井絵理香（株式会社ソフタス 総務部 責任者）

山下俊一郎（あさひメディカルグループ 事務長）

伊藤みつ子（保護者）

小河原昌希（卒業生）

小野寺美音（卒業生）

オブザーバー：

小山妙子（さいたま商工会議所 検定・貿易証明センター センター長）

本校からの出席者：

永嶋龍次（理事長）、前川一也（校長）、琴野実（キャリア支援センター長）、大木健一（教務部長代理）、杉浦真一（総務・広報課長）

#### 4. 学校関係者評価委員会次第

① 開会

- ② 理事長挨拶
- ③ 議長選任
- ④ 自己点検・評価結果の説明（校長）
- ⑤ 委員による評価および意見交換
- ⑥ 閉会

5. 自己点検・評価結果の説明（校長）

別紙「平成30年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに、その結果について説明しました。

6. 委員による評価および意見

別紙「平成30年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに評価を行い、その内容は概ね良好であると結論づけました。なお、委員による評価および意見は下記のとおりです。

●委員による評価

※評価は5段階（未達成、不十分、普通、ほぼ達成、達成）で実施しています。

1.教育理念・目的・育成人材像等		評価
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	達成
2.学校運営		
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	達成
3.教育活動		

評 価 項 目	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか	達成
	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成
4.教育成果		
評 価 項 目	4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	達成
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	達成
5.学生支援		
評 価 項 目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	普通

目	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通
	5-28 保護者と適切に連携しているか	達成
	5-29 卒業生への支援体制はあるか	ほぼ達成
6.教育環境		
評価項目	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できているか	達成
	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ達成
	6-32 防災に対する体制は整備されているか	達成
7.学生の募集と受け入れ		
評価項目	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成
	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	達成
	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成
	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成
8.財務		
評価項目	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	達成
	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成
	8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	達成
	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成
9.法令等の遵守		
評価項目	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成
	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成
	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	達成
	9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	達成

10.社会貢献		
評価項目	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	普通
	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通

●委員からの意見

- ・評価結果は問題ないが、基準をさらに明確化した方がよいのではないかと。専門学校の卒業生には、即戦力を期待したい。
- ・本校はアットホームな雰囲気、学生と先生との関係や学生間との関係がよいが、現在はどうか。
- ・学校の方針でもあり、現在も変わらない。(本校)
- ・パンフレットから受ける印象は学校によりさまざまである。
- ・本校の魅力としてアットホームな利点は活かしながらさらに工夫したい。(本校)
- ・評価において、数値化できるものは、数値化したらどうか。また、パンフレットを学生に作成させたらどうか。さらに、SNSで学生が発信している専門学校もある。
- ・本校でも、クリエイター科・デザイン科の作品展示発表会において、パンフレット作成とプレゼンテーションの司会を学生がしている。また、就職用パンフレットは、学生が作成している。(本校)
- ・本校のパンフレット作成を全面的に学生に任せることは困難であるが、一部を学生に作成させることを検討したい。(本校)
- ・評価項目は、他校も同じなのか。
- ・ガイドラインがあり、これに従っていれば、ほぼ同じである。(本校)
- ・学生寮の有無など、学校の規模により評価項目は異なるのではないかと。また、社会貢献への対応は困難なのではないかと。
- ・高校生や新入生にヒアリングして、時代のニーズに合った対応を検討したらよいのではないかと。また、学校をよくするために必要な施策を、学生にヒアリングしたらどうか。会社でも同じことを実行している。
- ・新入生にアンケートしており、そこからニーズを把握しているが、さまざまな角度からさらに検討したい。(本校)
- ・本校の良い点をアピールすればよいのではないかと。
- ・本校に相応しいアピールの方法を検討すればよいのではないかと。
- ・アットホームな点を極めてもよいのではないかと。
- ・新しいことにチャレンジしている学校と、長期間変化のない学校とでは、活気が大きく異なる。新しいことへのチャレンジは必要である。

- ・現状を捉えて評価を変えた点はよいと思う。大手と異なる本校に相応しい施策の検討が必要なのではないか。
- ・他校と異なる本校に相応しい方向を目指して、改善し続けたいと考えている。(本校)

以上